

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成28年8月3日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891200016		
法人名	有限会社 凜成		
事業所名	グループホーム 花あかりの家	ユニット名	2階
所在地	313-0106 茨城県常陸太田市下利員町1262-1		
自己評価作成日	平成28年3月15日	評価結果 市町村受理日	平成28年8月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0891200016-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0891200016-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年4月19日	評価機関 決 済 日	平成28年8月3日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>山間の静かな環境の中で、ゆっくりとのんびりと時間が流れ、花あかりの家での1日をご利用様との笑い声や笑顔で溢れています。四季折々の景色を見ながら、心地よい陽の光を浴びる事が出来ます。梅や桜、水仙の花に春を感じ、五感で四季を感じる事が出来る幸せを、ご利用様と職員で分かち合っています。また、近所の方々との交流もあり季節の切り花を届けて頂いたり、野菜・果物のお裾分けが届いたり、花あかりの家が地域に根付いてきていると思います。一番の自慢は職員が明るく笑顔で溢れているせいか、施設内も明るい雰囲気をご利用様の明るい声と笑顔が見られることです。今後も、ご利用様本人やご家族様の思い・要望を支援の中に組み込んでより質の良いサービスが提供できるよう努力し、居心地の良い「家」にしていきたいと思っております。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は周囲に畑が広がる自然に恵まれた山間に立地しており、四季折々の風景を楽しみながらのどかに暮らせる環境となっている。</p> <p>事業所内の全ての床が木造で、温もりのある空間が広がっている。</p> <p>3名の常勤看護師が勤務していることから、利用者が重度化した場合や、事業所での看取り介護が可能となっており、協力医療機関との24時間連携体制が整っていることは、利用者や家族等の安心へとつながっている。</p> <p>職員は常に利用者のつぶやきに耳を傾け、ラーメンや手作り餃子を献立に取り入れるなど、利用者の要望にそったサービスの提供を心がけている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に、理念を復唱する事で職員間で理念の共有をし、又、理念に沿った介護を実践する事で資質の向上に努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自所の秋祭りでは地域の方もおよびしています。毎年地域の運動会や夏祭りにも参加しています。今回は、芸能発表会の声掛けも頂き鑑賞させて頂きました。近所の方の切り花や野菜のお裾分けもあつたり交流も年々深まっています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で、区長・民生員・老人会会長・家族代表の方々を通して理解して頂けるようにしている。また自所には居宅介護支援事業所も併設しており尽力を頂いています。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では地域・役所関係・家族代表の方々にご利用様の現況・今後の取組みについて報告をし、その中で指摘や意見を取り入れサービスの向上にいかしています。また地域の状況も教えて頂き情報を交換できる場ともなっています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入退所の連絡をすることは勿論だが空床が出た時には連絡しをしている。生保の方もいるので連絡を密にして連携を図っている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2階は今の所身体的な拘束はしていない。階段の所はご利用様の状態に応じて施錠している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等で学ぶ機会を設けている。また、ミーティングにおいて話し合いや認識する機会を設け、虐待防止に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で学ぶ機会を設けているが活用までには至っていない。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設長や事務長が主に携わっているが管理者も時間の都合が合うときは立ち会っている。疑問点をお伺いし十分な説明をする事で理解・納得して頂いています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会の際には必ず現況を報告し、意見や要望があれば聞き入れています。またそれ以外でも電話等で要望を聞くこともあります。ご本人からは勿論の事、常に聞く機会を設け運営に反映できるような環境を整えています。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングで意見を出してもらったりその都度聞くようにしています。管理者は意見や提案を出せる・聞ける環境作りを心掛けています。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況や勤務内容により処遇改善交付金に差をつけたり、労働時間も個人の希望も考慮している。日曜・祝日出勤には手当を付けたたり、また代表は個人的に職員の誕生日には毎年ハンカチや靴下のプレゼントをして下さいます。そういったまごころが職員のやりがいにも繋がっています。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社外の研修等は希望があれば受けられる機会を作っている。現場においてもその都度やり方や手順・言葉の掛け方なども指導している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は研修を通じて他事業所の方と名刺交換や連絡先を交換したりして交流をしながら、お互いに情報を交換したりしている。職員も研修や講演会に参加し質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に必要な情報を各所から頂き、本人にも面会し直接要望等を聞き出し、本人からの要望等が聞けない時には家族からの要望等を聞き出し安心して入所できるよう心掛けている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人同様面会し要望等を聞き入れている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の日、管理者のいる日にしている。そして必要としている支援を見極め、その時々合ったサービスを検討している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご利用者様を祖父母・父母・兄弟姉妹のように想いながら、共に生活しお互いに必要なんだと思える関係を築いています。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会は勿論、外泊・外出は希望があればいつでもして頂いる。時間も制限は設けず本人と家族の絆がより深まるよう大切にしている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔のご友人の面会、自宅に来ていたヤクルトの配達を施設にして頂いたり、今まで通っていた美容室に行ったり関係が途切れないよう支援している。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールのテーブルの位置を変えて孤立しないよう、また、レクリエーションでは、皆が参加できるよう広いスペースを作りご利用者様同士が関わりを持てるよう職員も間に入り支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの終了時には、これまでの関係を大切にする上でも、いつでも顔を出して頂けるようまた、必要時には相談しやすいように、声かけをしたりと門戸を広げそれらに努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケース記録に記入したり、朝礼や申し送りの時に報告し思いや意向の把握に努めている。また管理者は勤務日には1人1人と話をする・聞くよう心掛けている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員はご利用者様の生活歴や既往症・現病を把握し、さらに、会話の中で知り得た情報を共有している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人の今できる事・出来なくなっている事心身状態の変化を見逃さないようにしている。変化のある時にはどのように変化したのか現状を話し合いその都度個人に合った支援をしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議やミーティングで意見を出し合いまた本人や家族からの要望を踏まえた上でその方に合った介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に随時書き込むようにしている。実践したことや、結果、気付いたこと等記録は大事だと職員に伝えている。そして、毎日の申し送りや連絡帳に記入し情報を共有しながら見直しに活かすようにしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月無料で整体師に来て頂きご利用者様にマッサージを受けて頂いている。また、2ヶ月に1回出張で散髪にも来て頂いている。また、ひだまりの家に知り合いの方がいるので時々お邪魔したり、施設間での交流も出来るようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方が時々来てくれて話し相手やレクリエーションをして下さっている。また時々ですが、職員と買い物に出掛けたりしている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までに受診していた医療機関をかかりつけ医にしている。かかりつけのない時は本人・家族と相談し特に希望がなければ、自所協力医を受診して頂いている。また、その時の状況に応じて適切な医療機関を受診できるよう支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は常に状態の把握を行い、異常時や気づきのあった時点で看護師に相談しその状態を見てもらっている。看護師は早期受診を心掛けている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には、自所・病院共に看護サマリーを作成し情報交換している。看護師や管理者は面会を通し状態の把握に努め家族や病院関係者との連絡を密にし関係づくりにつとめている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の方に看取りのアンケートを実施した。重度化した場合ご家族との話し合いを持ち方向性を確認している。看取りの要望があれば受け入れている。（自所では初めて看取りを行った）
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修で勉強会を行っているが、定期的な訓練とまでは実施できていないが看護師のミーティング等で必要な研修を話し合い徐々に実施する予定になっている。最近では、吸引の研修を行った。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防・避難訓練を行っている。以前には消防署や消防団の協力も頂き近隣の方をお呼びして消火訓練も行っているので引き続き行って行きたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その時々・その方に合った言葉かけ、言葉遣いに気を付けている。排泄時にはアコーディオンカーテン・入浴時には、洗面所との仕切りになるロールカーテンを下ろしプライバシーの保護をしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来る方にはしてもらっている。表出や自己決定の難しい方には、コミュニケーション・スキンシップを取る事で言いやすいように職員が促している。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のベースの流れはあるが、全員が同じペースではなく、それぞれの希望やペースに沿って支援できるよう努力している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日着る洋服を職員と一緒に選んだり、散髪時も本人の希望の髪形や長さにするようにしている。また、自分で化粧をする方もいたり、時々、職員が眉の手入れをしたり、化粧をしてあげる事もある。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一緒に食べている。ご利用様のリクエストでお楽しみメニューにしたり今回は手作り餃子をみんなで作って食べたり既製品や外食に捉われず支援しています。食事後の片付けも出来る方は職員と一緒にしています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量・水分量をケース記録や申し送りに記入している。水分量の少ない方は飲み物を変えたり、ぬるくなった物は入れ直したり工夫している。食事量もその都度状態に合わせて調整しながら支援している。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを促し洗面所に誘導し（状態によってはホールで行う方もいる。）見守り・介助しながらケアを行っている。口腔内の状態や力量に応じ歯ブラシの方、スポンジの方と分けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は全員の方がトイレで排泄を行っている。夜間も9割トイレやポータブルを使用している。パットも尿量の多い少ないにより大きさを使い分け使用量も減らすようにしている。ケース記録に排泄の記録をしているので、そこからパターンを読んだり、サインを見逃さないよう自立に向けた支援をしている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で毎日確認をしている。腹部マッサージや運動の他、陰部洗浄で刺激を与える等、食べ物では、さつまいも等の繊維を多く含む食品をおやつに出したりしている。薬での調節も行っている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来る限り希望やがある時は入浴できるよう支援しているが状況によっては希望に沿えない時がある。入浴できない時は足浴や陰部洗浄を行うようにしている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息は本人の希望や状態に応じていつでも出来るよう支援している。夜間も安眠できるよう湯たんぽを入れたり冷暖房で温度の調節をしています。特に夜勤者は足音や話し声にも気を使っている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書に目を通すようにしている。処方が変わった時には申し送りや連絡帳に記入して情報を共有し確認している。また、誤薬防止の為、薬の出し入れは管理者・看護師に限っている。服薬時も担当が決まっており朝・昼・夕等の確認、さらに本人と名前の確認をした上で服薬するようにしている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として食器拭きや洗濯たたみ、テーブル拭き、手作りの日めくりカレンダーめくり等がありますが、自分の役割として皆さん進んで行っています。男性の方も洗濯たたみをして下さりビックリするほど綺麗にたたまれます。また、買い物やドライブ（職員の用事のついでに）で気分転換を図っていただいている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	車の事情もあり全員でとはいかないが、2・3グループに分けて季節毎に外出の支援をしている。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少ない額で所持している方もいる。個人できちんと管理している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>携帯電話を持っている方は自由に電話をしている。また、希望があれば事務所の電話を使用してかけたい時に電話して頂いている。手紙やハガキも自由にやり取りができる。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとの切り花や職員や家族、ご近所様からの頂きもの等をいつも飾るように心掛けている。（造花も含めて）こいのぼりやクリスマスツリーの季節のものも飾るようにしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールのテーブル席だけではなく、各所にイスを置いてどこでも好きな所でくつろいで頂いている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物や使い慣れたものを持って来て頂き配置も出入りの妨げにならないように配置して頂いている。家族の写真を飾ったり、居心地の良い居室作りに心掛けている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや洗面・浴室には大きく見えやすい貼り紙をして場所がわかるよう工夫している。ホール内も身体を使ったレクが安全に出来るよう広いスペースを設けている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない